

編集後記

本特集は、「ダイアライザ・ダイアフィルタの今後を考える」と題した特集でした。いうまでもなく、血液透析・血液透析濾過においては、血液浄化器は治療の中心となるデバイスであり、必要不可欠です。一方、こうしたデバイスの開発は、わが国がけん引してきたものの、近年は必ずしも新規デバイスの発表は多くはないのも事実です。こうした閉塞感のなかで、今までの血液浄化器の開発の歴史を振り返り、今後どのような突破口があるのかについて、各領域をリードする先生方にご執筆をいただきました。そのなかで見えてくるのは、患者背景が透析療法の黎明期からは、大きく異なっていること、さらには、尿素を主体とした指標だけではなく、さまざまな指標が現在

の視点で見直されてきていることだと思います。前者においては、栄養状態が良好ではない一方、炎症を伴う患者が増えてきていますが、栄養素・体蛋白と尿毒素をどのように区別をするのかが重要な課題です。一方、後者においては、より分子量がアルブミンに近い物質、蛋白結合率が高い物質をいかに生体適合性を高く除去するかということが課題として挙げられます。生体の腎臓が何千万年をかけて獲得してきた機能を、いかにわれわれが模倣できるのか、さらにはそれを超えることができるのか、現実世界でも、COVID-19による閉塞感がありますが、デバイスの開発において、将来を展望するきっかけになれば幸いです。

(花房 規男)

2021年(Vol. 37)特集のご案内

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| No.① 腎性貧血治療のこれまでと、その新しい展開 | No.⑤ ダイアライザ・ダイアフィルタの今後を考える |
| No.② 感染症と医療安全 | No. 6 看過してはならない不整脈 |
| No.③ 透析看護分野の看護師の認定・研修制度と社会から求められるもの | No. 7 CKD 診療におけるビタミンと微量元素
(既刊は○) |
| No.④ 透析の開始・継続・見合わせ | |

臨牀透析® Vol.37 No.5

© 2021 年 5 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円＋税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也
発行所 株式会社 日本メディカルセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル
営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904
編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377
e-mail dialysis@nmckk.co.jp
URL <https://www.nmckk.jp>
郵便振替 00110-2-80695
印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan
・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。
・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■ 広告申込所／株式会社 文芸社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541